



## 投与開始基準(チェックリスト)

診断名	関節リウマチ	<input type="checkbox"/> 既存治療で効果不十分	既存治療で効果不十分な場合に投与して下さい
		<input type="checkbox"/> メトトレキサートに本剤を上乗せすることのリスク・ベネフィットを考慮	リスク・ベネフィットを考慮した上で使用して下さい
		<input type="checkbox"/> メトトレキサートの投与量 (mg/週)	承認用量は6~16mg/週です
	ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎	<input type="checkbox"/> 既存治療で効果不十分	既存治療で効果不十分な場合に投与して下さい
	乾癬	<input type="checkbox"/> 既存治療で効果不十分もしくは難治性の皮疹、関節症状又は膿疱を有する患者	左記に該当する場合は投与して下さい
	強直性脊椎炎	<input type="checkbox"/> 既存治療で効果不十分	既存治療で効果不十分な場合に投与して下さい
	クローン病	<input type="checkbox"/> 既存治療で効果不十分かつ中等度から重度の活動期にある患者又は外瘻を有する患者	左記に該当する場合は投与して下さい
潰瘍性大腸炎	<input type="checkbox"/> 既存治療で効果不十分かつ中等症から重症の患者	左記に該当する場合は投与して下さい	
本剤投与前の治療歴	以前投与を受けたことがある	<input type="checkbox"/> 抗リウマチ薬 (DMARDs) (関節リウマチの場合)	本剤治療前にDMARDsによる治療を検討して下さい
		<input type="checkbox"/> 副腎皮質ステロイド <input type="checkbox"/> 他の生物学的製剤 <input type="checkbox"/> 本剤又は先行バイオ医薬品 (レミケード <sup>®</sup> )	再投与の場合には、避発性過敏症の発現に備え十分な観察を行って下さい 投与間隔が空いてから再投与を行う場合は、投与時反応の発現に特に注意して下さい
併用薬	現在使用中の薬剤がある	<input type="checkbox"/> メトトレキサート (関節リウマチの場合)	本剤を投与する際は、メトトレキサート製剤を必ず併用して下さい
		<input type="checkbox"/> その他のDMARDs (関節リウマチの場合)	副作用発現のリスクが高くなる可能性があります
		<input type="checkbox"/> 免疫抑制薬 (メトトレキサート以外) <input type="checkbox"/> 副腎皮質ステロイド	副作用発現のリスクが高くなる可能性があります
		<input type="checkbox"/> その他	他の生物学的製剤との併用は行わないで下さい
合併症	感染症	<input type="checkbox"/> 重篤な感染症 (敗血症等) がある	【禁忌】本剤を投与しないで下さい
		<input type="checkbox"/> 感染症がある、又は感染症が疑われる	慎重に投与して下さい
	結核	<input type="checkbox"/> 活動性結核	【禁忌】本剤を投与しないで下さい
		<input type="checkbox"/> 結核の既往歴がある (肺外結核を含む) <input type="checkbox"/> 結核患者との濃厚接触歴がある	問診結果から結核発症のリスクを考慮し、抗結核薬の投与を検討して下さい
		<input type="checkbox"/> 胸部画像検査で陈旧性結核に合致するか推定される陰影がある <input type="checkbox"/> インターフェロニン-γ遊離試験、又はツベルクリン反応検査で陽性 <input type="checkbox"/> X線/CT検査で、結核治癒所見がある	検査結果から既感染が疑われるので、抗結核薬を投与した上で、本剤を慎重に投与して下さい
		<input type="checkbox"/> HBc抗体を含むB型肝炎ウイルスマーカー検査を実施している	ウイルスキャリア又はHBV-DNAが基準値以上の場合はまず核酸アナログ製剤の投与を開始し、既往感染の場合には再活性化の徴候/症状に十分注意して下さい
	間質性肺炎	<input type="checkbox"/> 間質性肺炎の既往歴がある	慎重に投与して下さい
	重篤な血液疾患	<input type="checkbox"/> 重篤な血液疾患 (汎血球減少、再生不良性貧血等) がある、又はその既往歴がある	異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行って下さい
	脱髄疾患	<input type="checkbox"/> 脱髄疾患がある、又はその既往歴がある	【禁忌】本剤を投与しないで下さい
		<input type="checkbox"/> 脱髄疾患が疑われる、及び家族歴がある	慎重に投与して下さい
うっ血性心不全	<input type="checkbox"/> うっ血性心不全の患者	【禁忌】本剤を投与しないで下さい	
過敏症	<input type="checkbox"/> 本剤の成分又はマウス由来のタンパク質 (マウス型、キメラ型、ヒト化抗体等) に対する過敏症の既往がある	【禁忌】本剤を投与しないで下さい	
妊婦・授乳婦	<input type="checkbox"/> 妊娠中又は妊娠の可能性や予定がある	治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与して下さい 胎盤過渡性があるとの報告がありますので、本剤の投与を受けた患者さんからの出生児においては、感染のリスクが高まる可能性があるため、生ワクチンを接種する際には注意が必要になります	
	<input type="checkbox"/> 授乳中	治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討して下さい	
高齢者	<input type="checkbox"/> 高齢である	感染症等の副作用の発現に留意し、慎重に投与して下さい	
小児	<input type="checkbox"/> 小児である	使用経験が少なく安全性が確立していないため、慎重に投与して下さい クローン病及び潰瘍性大腸炎の場合、6歳未満の幼児等には治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合のみ投与して下さい	
ワクチンの接種	<input type="checkbox"/> ワクチン接種の予定がある	本剤治療中は生ワクチン接種を避けて下さい	